

# 会議議事録

1 会議名	令和6年度 第1回阿賀町総合計画審議会				
2 開催日時	令和6年8月26日(月) 午前10時00分(終了: 午前12時03分)				
3 開催場所	阿賀町公民館講堂				
4 出席者名	宍戸委員、横山委員、羽賀委員、田中委員、長谷川委員、清野委員、青木委員、石川英理香委員、清田委員、齋藤委員、廣瀬委員、渡部委員、野潟委員、猪俣委員、増川委員、石川美智子委員、田実委員、石川千春委員				
5 議事	1) 正副会長選出 2) 諮問 3) 阿賀町総合計画の策定について 4) 第2次阿賀町総合計画の検証について 5) 阿賀町の現況について				
6 傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合は その理由	/	傍聴者数	3名
7 審議の内容					
1.開会 事務局	<p>改めまして、おはようございます。定刻になりましたので、これより令和6年度第1回阿賀町総合計画審議会を開催いたします。</p> <p>皆様には大変お忙しいなか、委員をお引き受けいただき、また本日まで出席いただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>正副会長が選出するまで進行を務めさせていただきます総務課長の鈴木勉と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の審議会につきましては、議事録作成のため録音をさせていただきますのであらかじめご了承くださいと思います。それでは、着座にて進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>				
2.委嘱状交付 事務局	<p>それでは初めに委員の皆様へ町長から委嘱状の交付をさせていただきます。委嘱状の交付につきましては、会議時間の関係上、代表受領とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>皆様の委嘱状につきましては、席上に既に配布させていただいておりますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは委員を代表して新潟大学副学長の宍戸邦久様に受領させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">委嘱状交付</p>				

事務局	<p>次に、委員の皆様のご紹介をさせていただきますが、大変恐縮ではありますが、時間の都合上もありますので、お手元の名簿、席次表を持って紹介に変えさせていただきます。よろしくお願いたします。尚、本日は、新潟県立津川病院長の原委員、保育園保護者会の斎藤委員におきましては、都合により欠席となっております。</p> <p>それでは、審議会の開催にあたりまして、神田町長からご挨拶を申し上げます。</p>
3.町長あいさつ	<div data-bbox="837 488 1021 533" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">町長あいさつ</div> <p>おはようございます。ただ今、穴戸先生をはじめ、皆様方に総合計画審議会委員の委嘱のお願いを申し上げたところでありますが、心より皆様から委員をお引き受けいただき、また、今日は極めてご多用のなか、こうしてご出席を賜りまして本当にありがとうございます。</p> <p>第1回の審議会、これから開催をするなかですね、来年度からの10年間の基本構想並びに5年間の基本計画策定を皆様方からお願いを申し上げるところでございます。委員の名簿をご覧いただければ、それぞれ20名の方をお願いをさせていただきましたけれども、主だった私の立場からですね、皆様方の役職も記載をさせていただいているわけでありましてけれども、この審議会の審議にあたっては、そうしたところを超えながらですね、ぜひ皆様方の日頃の思いをご意見として出していただき、意見交換をしていただくなかで計画の策定をよろしくお願いを申し上げたいと思います。</p> <p>合併して今年度、来年3月末で丸20年でございます。20年前、阿賀町として誕生して、当時の人口が1万5,448人と記憶をしておりますけれども、現在9,000人を割るかというところまで人口の減少が進んでおります。この人口減少が、やはり本当に全ての面で、この阿賀町のなかにおいても大きな要因となりながら様々な課題が出てきているところでもありますけれども、そうしたなかで国の関係機関ですけれども、2050年の阿賀町の人口は3,802人、また、30代のなかでも女性の皆さんの人口の減少等々を見ていくと、消滅可能性自治体か、そこまで言われている、そうした状況が阿賀町の現実にありますけれども、やはり私としてもしっかりとそこは認識をしながら、そうならないようにこの人口減少、やはり今本当に想像を超えるようなスピードのなかで進んでいるというのが現実でありますけれども、しっかりそうした部分も受け止めながら、新しいまちづくりにですね、ここは皆様のご意見をいただきながら、お知恵をいただきながら進めていかなければならないという覚悟があります。そこには、やはりこれまでの歩みを今一度しっかりと検証をしたなかで、今後の5年間、10年間という町の最も基本的な計画がこの総合計画でありますので、しっかりそこを定めていきたい。皆様のご意見をいただくなかで、定めたなかで、しっかりとその歩みを進めていかなければならない、そういう思いであります。さっき言ったような数字にならない、まさにこれからも10年間、5年間が極めて大事な年であると</p>

<p>3.町長あいさつ</p>	<p>いう認識でございます。</p> <p>子供たちが本当に減少してきております。子育ての施策であっては、他の自治体よりもむしろ先行したなかで、阿賀町としては様々な施策を進めさせてきていただいております。子供の医療費完全無償化、保育園等々の環境の整備、小中学校の子供たちの給食の完全無償化、それから今は学校の環境整備で、これも他に先がけたなかで体育館にエアコンの空調の整備を進めてきてるといようなところでもありますので、しっかりそうした子育て、教育環境の充実を進めていかなければならない。</p> <p>そしてまた、ここは様々な産業、商工会はこの4月から阿賀町1本になったところでございます。また基幹産業といえますか、大事な産業である一次産業、農業、そしてまた林業、そうした産業面においても本当にここは大事な部分で、労働者の問題、またこうしたコロナ禍を経ながらですね、大変厳しい環境となってきた部分もあります。私としては、町も関わりながら、しっかりそうしたところへ向けての種まきというかですね、1つ民間の皆さんの力をいただいていくというところで、いくつかそうした部分を今進めつつあるわけではありますが、しっかりそうしたものを育てていくような、芽を出しながら育てていかなければならないという思いも強く思っているところでございます。</p> <p>代表して宍戸先生に委嘱状を交付させていただきましたが、宍戸先生、この場で申し上げて大変恐縮でございますけれども、総務省のご出身であります。福島、山形県等々からいろんな地方の経験をしながらですね、中央も経験しながら、新潟大学の教授、そして副学長、先生としてご活躍をいただいているわけですが、私も新潟にお越しいただいてからすぐに学生の活動でずっと先生には個人的にもお世話になっている部分でありまして、県内の自治体においても、直近では、私の記憶では聖籠町さんであったり、燕市さんであったり、村上市さんであったりですね、まさにこうしたそれぞれの自治体の総合計画を取りまとめたいただいているんですね。まさに私ども行政にとっては、本当に私どもばかりではなくて頼りにしている、新潟県を引っ張ってきていただいている先生でもございますので、どうか宍戸先生を初めにですね、それぞれお願いいたしました委員の皆様から活発な意見交換を行うなかでですね、取りまとめたいただければと思います。ここには職員も加わらせてもらいながらですね、しっかり皆様のご意見を拝聴したなかで計画をまとめて進めてまいり、私の決意でありますので、どうかよろしくお願い申し上げます。開会の挨拶、皆さんへのお願いのご挨拶をさせていただきます。お世話になります。よろしくどうぞお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;"><b>配布資料の確認</b></p>
<p>4.議事 1)正副会長選出 事務局</p>	<p>それでは、これより次第4の議事に移らせていただきます。</p> <p>1)の正副会長選出についてですが、審議会条例第5条に基づき、会長、副会長は委員の互選となっております。どなたか会長、副会長への推薦などがある</p>

事務局	<p>りましたら、ご推薦いただきたいと思います。 無いようでありましたら、事務局案をご提案させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局からの提案でございますけれども、会長に宍戸委員、副会長に廣瀬委員を提案させていただきたいと思います。皆様、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>異議なしの声をいただきましたので、会長に宍戸委員、副会長に廣瀬委員からお願いしたいと思います。大変恐縮ではございますが、会長、副会長は前の席にご移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、これより宍戸会長より進行をしていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p>
会長 (宍戸委員)	<p>それでは改めまして皆さんこんにちは。ただいまご紹介に預かりました新潟大学の宍戸邦久と申します。この度は大変僭越ではございますが、会長にご指名いただきましたので、精一杯頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、副会長に選任されました廣瀬委員より一言いただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p>
副会長 (廣瀬委員)	<p>ただいまご承認を賜りました東蒲原郡森林組合の廣瀬茂雄と言います。どうぞよろしくお願い致します。ただいま副会長をご推挙いただきまして、大変重責であるな、こんなふう感じているところでもあります。この阿賀町総合計画、非常に阿賀町にとりまして、将来大事な計画でありますので、皆様のご意見あるいはまたご指導を賜りながらいい計画を作成したい、こんなふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げて挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。</p>
会長 (宍戸委員)	<p>ありがとうございました。それでは、議事の 2)でございますね。諮問について事務局よりお願いします。</p>
2)諮問	<p>それでは、町長より総合計画審議会に対しまして諮問を行います。町長、諮問書の方、お願いいたします。</p>

	(町長から会長へ諮問)
会長(宍戸委員)	ありがとうございました。ここで町長は退席をさせていただきます。
町長	はい。どうぞよろしくお願いいいたします。それでは、皆さん、大変お世話になります。よろしくお願ひ申し上げます。失礼ながら退席させていただきます。
3)総合計画の策定について	(町長退席)
会長(宍戸委員)	それでは、続きまして議事の3)、阿賀町総合計画の策定について事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局より資料1に基づき説明)
会長(宍戸委員)	ありがとうございました。ただ今、議事3)の阿賀町総合計画の策定について、資料1に基づきまして事務局から説明がございました。この件につきまして、何かご質問などございませんでしょうか。現行計画の確認というところでございますが、何かございますでしょうか。また、議事を進めながら、その後ですね、現行計画の検証というところがございますので、そこで重ねてご質問されてもよろしいかと存じますので、次に進めさせていただきますと思います。
4)総合計画の検証について	
会長(宍戸委員)	それでは議事の4)、第2次阿賀町総合計画の検証について、引き続き事務局から説明を求めます。
事務局	(事務局より資料2、資料3に基づき説明)
会長(宍戸委員)	<p>ありがとうございました。ただ今、資料2、資料3について説明がございました。資料3についてはこれからきっちり議論していきます。</p> <p>まず、事務局から説明がございました資料2について、確認しておきたいことなどございますでしょうか。これもですね、議事進めながら途中で聞く時間もありますから、ご活用くださいませ。</p> <p>さて、本日のメインディッシュといった感じでございますが、検証はこの分厚い20数ページに渡りますこの資料3について議論していきたいと思いますが、非常に多岐に渡っています。資料3の1ページをご覧ください。</p> <p>ここに現行計画体系図がございます。この真ん中に、基本目標といって先ほど事務局から説明のありました6つの基本目標、そして1番右側に横断的な目標、言ってみれば横串ですね、これが2つございます。それぞれの項目についてこの資料が作られておりますので、その区切りごとに委員の皆様からご意見を承りたく存じます。</p>

会長(宍戸委員)	<p>まず基本目標 1「豊かな自然のなかで育む結婚、出産、子育て環境を充実する」2 ページと 3 ページでございますが、これについてご意見を賜りたいと思います。これにつきましては、「子育て支援の充実」であるとか「結婚支援対策」、あるいは「学校教育の充実と愛郷心を育む環境づくり」、これについての内容でございます。これにつきまして皆様からご質問あるいはご意見など承りたいと存じますが、いかがでございましょうか。</p>
会長(宍戸委員)	<p>それでは私から、本日の追加資料 3-2 (4 ページ) について聞かせてください。1 番上に「確かな学力の向上」ということで、いわゆる NRT、標準学力検査のいわゆる県平均との差でございますが、残念ながら達成率 C でございます。こちら辺について何か事務局で要因を把握していますでしょうか。あるいは、その要因に対する対応策というものは担当ではないので、本来なら担当の方が説明に加わった時にお伺いするべきかもしれませんが、把握しているものがございましたご教示ください。お願いします。</p>
事務局	<p>学力の向上というところですね、阿賀町では教育の管理指導主事にお越しいただきまして事業の改善等を行っているところでありますけれども、小学校の方は数値目標を達成しておりますけれども、中学校の方で未達成というところがあります。中学校は生徒の期待される学力よりも低いというところがありまして、学年が上がるにつれて高くなっていると。小学校の時は学力が良かったんですけれども、中学校になるにつれてだんだん下がってくるというようなところもありますので、その辺につきましても、指導主事と学校の教育環境の改善等を行いまして、今後も努めていくしかないと考えております。</p>
会長(宍戸委員)	<p>ありがとうございます。ここを最初に聞いたのは、実は他の自治体で同じ質問が出てですね、なんでうちの自治体は県平均より低いのか。そこの要因がなかなか掴めない。そこで委員の皆さん、なんで県の平均より偏差値が低いのかという要因を分析して、それに対するケアをしましょうという対応策を考えることが、我が自治体の子どもたちの学力向上に資するのではないかとということで、要因分析をしっかりしましょうというご意見を頂戴してますので、ご参考までに質問を申し上げた次第でございます。続きまして、委員の皆様いかがでしょうか。</p>
石川英理香委員	<p>学校運営協議会小学校委員の石川英理香と申します。どうぞよろしく申し上げます。大変細かいことかもしれませんが、個人的な意見として述べさせていただきます。追加資料 3-2 (4 ページ) の「学校教育の振興」、上から 2 段目の「豊かな心の育成」ですが、この中に、コミュニティスクールの導入推進が前半あって、後半からいじめ不登校の早期発見がありますが。こちらは確かに豊かな心の育成だと思うんですけれども、コミュニティスクールの推進といじめ不登校の早期発見や中 1 ギャップなどは別問題だと思いますので、分けて考えた方が</p>

石川英理香委員	<p>いいかなと個人的に思います。</p> <p>数値目標を見ますと、コミュニティスクールの導入というのが一括りになってますが、コミュニティスクールになったから、研修回数を増やしたからといっていじめや不登校の早期発見、改善になるかとか、中 1 ギャップの解消になるかって、それはちょっと、つながるかもしれないんですけども、直接的には繋がらないと思うので、あくまでコミュニティスクールっていうのは、地域と学校をつなげる大きな目標があって、コミュニティスクールの学校運営協議会の中で、いじめや不登校の話をしていくのかということ決してそうではない。なので、これはちょっと「豊かな心の育成」の中の項目で良いとは思いますが、別に分けた方がいいと思います。</p>
会長(穴戸委員)	<p>ただ今、石川委員からご意見を承りました。事務局のお考えをどうぞ。</p>
事務局	<p>第 2 次総合計画後期基本計画におきましては、一つの括りになっております。地域と学校との連携や地域と学校、一緒になって子供たちを育てる、そういったことは今かなり重要だと思います。そのなかで一連となりますと確かに委員の言われるとおり、若干ニュアンスが違うところもありますので、その辺については今後の計画において改善させていただきたいと思いますのでお願いいたします。</p>
石川英理香委員	<p>ありがとうございます。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>数値目標に対して、事業評価との関連性があまりないのではないかといったご指摘がございました。後期基本計画において、数値目標の設定がうまくできてない指標が確かにございます。今現在、新しい総合計画の実施計画の策定に着手しているところでございますが。数値目標につきましては必ず 3 つの点を確認するようにしています。1つ目は「客観的な成果を示す指標か」というところ、2つ目は、今ほどご指摘があったとおり、「直接性のある効果を示す指標」かというところ、3つ目は「妥当な水準であるか」といった 3 点をチェックして数値目標の設定をしようと試みておりますので、次期総合計画ではしっかりと関連づけて数値目標の設定をしたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
会長(穴戸委員)	<p>次の計画ではしっかり抑えていただきたいと思います。続きましてご意見、ご質問などございますでしょうか。</p>
清田委員	<p>先ほど会長から学習のことについて少し中学校の方が、偏差値が低いのではないかとということをご質問いただきましたが、それと同等よりもっと深刻だと思っている項目が「健やかな体の育成」で達成率が「E」になっています。この件についてはとても深刻ではないかなと思っておりますので、この町には自然がた</p>

清田委員	<p>くさんあって、たくさん活動するような場所があるにも関わらず、コロナウイルスの影響もあったかもしれませんが、どんどん子どもたちの体の発達というか運動能力が低下しているというのが数字として現れています。これをどうしたら改善できるのかという、明確なものははっきりと表せないと思いますが、やはりこれも学習と同じで、いったい何が原因でどうしていったらいいのかっていうのを今本当に考えなければ、これはやっぱり積み重ね、学習も体の成長も積み重ねなので、真剣にちょっと考える時期にきているかと思いますので、ぜひ皆さんにお力添えをいただきながら次期計画に含めていただきたいと思います。</p>
渡部委員	<p>関連しましてただ今の件ですが、私、平成 20 年に担当課長をやっている、五泉広域圏で顕著に言えるのは、学校統合してスクールバスによる通学、これによって子どもたちの肥満が非常に多いというご意見がございました。かと言って、歩いて帰るといっても厳しいということで、それを皆さんで共通に理解していただかないとこれが全然伸びません。まだ成長期なんです、それがまた成人、高齢期という時にそれが上がってきますので、この体力の低下というのは本当大変重要な課題だと思っておりますので、ぜひ取り組みの強化をお願いしたいと思います。</p>
会長 (穴戸委員)	<p>貴重なご指摘ありがとうございました。ただ今ご意見賜りましたがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>児童・生徒の体力の低下ですが、今、渡部委員の方からありましたとおり、統合によってほとんどの生徒がスクールによって通学をしているというような状況です。私も以前は 2 キロほど離れたところを小学生の時に毎日通ったり、忘れ物をすると走って戻ってまた学校へ行ったりといった経験をしておりまして、その頃は体力もかなりあったと思いますが、今はスクールバスで通学になっております。児童生徒の安全という面もありますので、スクールバスはスクールバスとして大事なものだという認識です。ではどの様に体力を向上させるかということ、これを次の総合計画に盛り込んで体力の低下をどうやって克服していくかということを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p>
会長 (穴戸委員)	<p>ありがとうございました。続きまして基本目標 2「地域資源の活用と自然環境の保全を推進する」。資料で言いますと 4～5 ページでございます。こちらにつきまして、委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。ここは、地域資源の活用、あるいは自然環境の保全でございます。ご意見あるいはご質問などございましたらご発言の方、よろしくお願いします。</p>
齋藤委員	<p>認定農業者会の齋藤と申します。6 ページの上から 2 番目のところ「農業生産環境等の整備」の「農地の集約化、作業効率向上を図るための基盤整備を進める」</p>

齋藤委員	<p>という部分で判定がAになっておりますけども、現実問題、基盤整備は結構頓挫して今のところ 0 になってるかと思うんですが、このA評価っていうのはどういところから来てるのでしょうか。</p>
事務局	<p>齋藤委員からご指摘のありましたとおり、基盤整備につきましては予定していた箇所が難航している状況であります。今後、農地整備と担い手や農地の集約化効率化の向上になりますと、基盤整備のみではなく、機械化によるものや老朽化した農業施設の改修整備というところで効率化と安定化を図るところでそのような観点から総合的に数値目標として70パーセントとなったものでございます。基盤整備のみで見ると、全然達成はされていないという感覚はあると思いますが、機械整備等も含めまして70パーセントと判断してるものです。</p>
齋藤委員	<p>分かりました。基盤整備のみに私は限定して言ったつもりでもないんですけども、現在も段々農地の方が廃れていってるような現状でございます。それについてA判定というのはどうも納得がいなくて、これから全然農地が荒れないんだという感じでございますけれども、現実問題としては農地は荒れ続けております。この辺を踏まえて、ちょっとこの評価のAっていうのがいかがであろうかなと私は思っています。</p>
会長(宍戸委員)	<p>ご意見として賜ります。A評価というと満点のようなイメージを受けますけど、今、齋藤委員からご指摘があった問題もあるということを経理局の方はしっかりと受け止めていただきたいと思います。続きまして、委員の皆様いかがでございますでしょうか。</p>
猪俣委員	<p>新潟県建設業協会津川支部の猪俣です。よろしくお願いいたします。当社のごとで雪樁の事業で絡んでおりますので、質問させていただきます。5ページの雪樁の箇所の1番上をご覧ください。その前に、会長の方から戻ってもいいというお話がありましたので、まず、資料2の2ページに検証の考え方の記載があり、同じく資料3の5ページの右上にも達成率の記載がありますが、今回の雪樁の達成率はCという評価のなかで、齋藤委員の疑問にも直結すると思いますが、例えば、雪樁の苗木生産(原木)は目標値300本に対して実績が200本ということで、おそらくこの計算式から言うと66パーセント、雪樁の苗木生産(園芸種)についても、目標300本に対して実績100本ということで33パーセント、雪樁の植栽地が7箇所に対して4箇所なので57パーセントという評価をされて、平均を出してCという評価をされたのだと思います。ただ、私も以前から審議会携わらせていただいたなかで、ここに記載のある現状値は令和2年時の現状値だと思いますが、例えば雪樁の植栽地が令和2年に4箇所、5年間で7箇所に増やそうと活動してきたなかで、実績値が4箇所ということは、植栽箇所数だけを見れば、成果がなかったということが私は評価とすれば正</p>

猪俣委員	<p>しい見方ではないかと思ます。本来であれば、4箇所から増やしましょうという目標に対して、増やせなかったってことで増加は0になると、達成率はCという評価にはならないはずで、この点は、今後もずっと出てきたり、全体のところでも出てきますが、この検証の考え方の達成率というか評価の仕方みたいなところが、果たしてこれで良いのかという点は非常に疑問で、何度も言って恐縮ですが、5年間でやろうとしてきたことが、成果の数としては何もなかったことに対して、57パーセントは出来ていますと評価をすることは、いかがなものかと感じております。</p>
会長(宍戸委員)	<p>どうもありがとうございました。先ほどの資料2のところに戻りますが、先ほど齋藤委員からのご指摘もありましたけれども評価ですね、このA~Eという評価の仕方についてご意見をいただいたところでございます。この件に関して、関連して委員の皆様から何かご質問あるいはご意見ございますでしょうか。</p>
会長(宍戸委員)	<p>この評価は数字だけで、杓子定規にAです、Bです、Cですと評価したのでしょうか。自治体によっては杓子定規にA~Dと数値が出ても、1段階上げたり下げたり、最後にその数字を基に、それを出発点にして上げたり下げたりするという評価をする自治体もございます。今、齋藤委員や猪俣委員からご指摘があったように、評価に違和感を持つ方もいらっしゃるので、そういった評価をする自治体もございます。</p>
猪俣委員	<p>同じようなことですが、先ほど会長からお話があったように、そういった評価もあると思ます。ただ、やはり何度も言って申し訳ありませんが、令和2年の段階でやろうとしていたことに対してどれだけできたかという要素は大事だと思ますので、そこは評価にきちんと加えないといけないのではないかと思ます。元々現状値がいくつあって、それが目標に対してどれぐらいの割合を占めているのかというよりも、やろうとしたことができたのかという評価にしなくてはいけないと感じています。</p>
会長(宍戸委員)	<p>ありがとうございます。ご意見として承りたいと思ます。  それでは続きまして基本目標3「新しい人の流れをつくり、地域との交流を築く」。資料で言いますと7~8ページにございます。これにつきまして、引き続き委員の皆様からご意見を賜りたく存じます。ここは、「定住支援の推進と関係人口の創出」、あるいは「芸術文化や生涯スポーツの振興」についてでございます。委員の皆様、ご質問あるいはご意見等ございましたらお願いします。</p>
会長(宍戸委員)	<p>それでは私の方から質問でございます。7ページ、基本施策では定住支援、施策の展開で2つ目ですね、「移住生活を体験できる体制を整備する」ということで、移住体験世帯数、これを年間目標6世帯。大変恐縮ですが私、よそ者とし</p>

<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>て阿賀町の施策を見てると良く頑張ってる方だと思います。その意味で、先ほどの評価のことをございますけれども、6世帯の目標のうち3世帯でも十分、頑張ってる方だと私は思います。ただ、杓子定規に50%でCとした以上はですね、そこら辺の要因分析、どういったことが要因になっているのか、6世帯の目標に対して3世帯だったっていうことに対して町としてはどのように要因として捉えてるか、もしもご案内できたら教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>阿賀町では、子育て支援、移住、定住対策につきましては、他の自治体に負けないくらいの事業を持っております。ところが、なかなか利用される方は少ない状況であります。その原因としましては、町ではこれだけいい事業をやっているのに、なぜ外で発信しないのか。もっと発信しないとといった意見がざいます。町全体でもそうなんですよね。ホームページやSNSなどを使用してもっと発信したら良いのではと言われますが、自治体は発信ベタ、PRベタというようなところもありまして、その辺が1つの要因なのかなと思っております。令和5年度に阿賀町アプリという「しらせあい」と言いますけれども、その中でですね、色々な情報も含めまして、主に町民向けですが、あがまちファンクラブの皆さんや郷人会等の皆様にもアプリをご活用いただき、その辺でもっとPRをしていかなければならないと考えております。</p>
<p>増川委員</p>	<p>移住コーディネーターの増川と申します。今の、どうしてCなのかっていうか、ここのお試し移住のところですが、基本的な質問なんですけど、この年に3世帯という実績値は後期計画の5年のなかで3世帯ということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>3世帯は平均値でございます。2世帯の年もあれば、6世帯の受け入れした年もありますので、5か年の平均値ということで3世帯というふうに算定しております。</p>
<p>清野委員</p>	<p>空き家アドバイザー協議会の清野と申します。阿賀町で支部を設立してから4~5年ぐらいになります、その間、色々町とタイアップをしながら空き家対策に取り組んできました。この中で、数値目標ですか、前回の審議会に参加していないのでどの様に目標値を立ててるのか分からなかったのですが、目標値が低いのではないかと思います。7ページのなかでA,C,A,Aと評価がありますが、もっと目標値を上げて取り組んでいかないと、空き家がどんどん増えていくと考えられます。そこで、なかなか定住とか空き家を改築してそこに住んでもらう、そういうことでは動いてはいるんですけども、全員がここに定住するというのは非常に厳しいハードルがあるという現実も受け止めてはおります。</p> <p>そのなかで最近、国土交通省の方で二地域居住というものが、いわゆるそういった法律を作って定住するのではなくて、都会でも住んで阿賀町でも住めると、田舎にも住めるというようなことに対しての助成、補助に今切り替えていま</p>



田実委員	資料 9 ページの方にはなくなっています。それはいつ、なぜ消されたのか、もしお分かりになれば教えていただきたいです。
事務局	資料の 2 の検証の考え方に付随するものですが、今回の数値目標は算定できるものだけ記載し評価をしております。インバウンドに関しましては所管課の方で計測ができなかったということで、今回は評価の対象外とさせていただいております。
田実委員	<p>私自身も協力隊 2 年目にはインバウンドを推進するために、阿賀町農泊推進協議会を設立し、農水省の交付金を活用したインバウンド招致活動を行ってまいりました。そのなかで、私が関わっている宿泊施設さんについては外国人客数の数字を把握しております。それから阿賀の里でも現在台湾からの団体旅行客が来ており、人数も把握しているということでした。</p> <p>日本の人口が減っているなかでインバウンドの招致は、外貨を稼ぐという意味で非常に重要な施策だと思っております。そこに町としてより注力いただけるのか、いただく意向があるのかどうかというのも含めて、協議していただきたいと思っております。もし力を入れるのであれば、私は全力で支援したいと思っております。</p> <p>2 点目は、先ほど事務局からもお話がありましたが、施策と指標が一致していないのではということです。例えば「効果的情報発信の拡充を図る」という施策では情報発信に関することなので、指標としてはどんな情報発信をどこでどれだけしたのか、いくら予算をかけたとか、といったものが適切かと思いました。</p> <p>3 点目は、基本計画全体に関わる話になりますが、細かい指標が設定されている基本施策、さらには基本目標、それぞれにも指標が必要ではないかということです。例えばあがまちファンクラブの会員数という目標値は、その上に交流人口の増加という施策に紐づけられています。その場合交流人口の数としてはどれくらいを目標としているのか、さらにはそれによって観光・交流の推進にどうつなげ、いくら稼ぐまちを目指してやっているのか。それぞれ階層別の目標があってもいいのかなということが意見です。</p>
会長 (穴戸委員)	関連して私から意見を言わせていただきたいと思っております。田実委員の最後のご意見は、インプット、アウトプット、アウトカム。要は投入した、例えばお金とか時間とか人を投入したという効果ですね。そういう投入、算出、効果、こういう階層に分けて数値を設定した方が良いでしょう。より計画のこの数値指標を見ると分かりやすくなるという意味でしょうか。
田実委員	その通りで、それぞれ施策をやることによって、どんな効果を、どれくらいの指標で、具体的にどれくらいの目標値を立ててそれぞれの細かい施策をやっているのかという、大きいところの目標値が曖昧という印象があって、そこはどのよ

田実委員	うに今後していくのかといった整理は必要だと思います。
会長(穴戸委員)	階層的な整理は必要があると思います。
事務局	ご意見ありがとうございます。現行計画では1本1本施策ごとに数値目標とを設定しております。ただ、国の総合戦略を見ても、施策ごとに数値目標があって、その上の階層にKPIという、重要業績評価指標と呼ばれる指標の設定がございまして、例えば基本施策の階層のなかで、これをやったことによってどういう効果があったのかを効果測定をするようなKPIを設けようと考えており、現在、次期計画において設定の検討しているような状況でございます。
会長(穴戸委員)	インバウンドに関連するお話で私、実は昨日の夜、清川高原保養センターに泊まりました。お隣の部屋は白人のカップルでした。阿賀町では着実にインバウンドは増えております。それだけは報告したいです。どうも失礼いたしました。 それでは、時間の関係もございまして続きまして、基本目標5「元気に暮らせる福祉・医療体制を充実する」。ページ数でいきますと、13～15ページでございます。こちらにつきまして委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。
会長(穴戸委員)	それでは私から。13ページ「総合的な地域福祉の充実」の3つ目ですね。ドローンです。ここはCということで半分程度ということでございまして、今後の、これまた同じように要因とですね、目標年間120日に対して実績60日という要因と今後の方策ですね、どのような方法で今のところご担当課はお考えなのか、もしお分かりでしたら教えていただけますでしょうか。
事務局	ドローンを活用した空路・陸路による配送になりますが、令和3年度から実証実験を行っておりまして、令和5年度に「ドローンデポ」という基地を設けて実際に配送を開始しております。開始はしておりますが、なかなか周知が届かず、利用者が少ないこともありましてこのような数字、実績値になっております。今後、ドローンを災害時に利用を考えておりまして、災害時、人が行けなくなった、道路が寸断された初期の物資の輸送を考えておりまして、活用していきたいなと思っておりますし、今、遠隔診療もかなり進んできておりますので、医薬品の配送等についても、薬局さんと調整して今後、配送の頻度を高めていき、もっとサービスを向上させていこうと考えております。
会長(穴戸委員)	ありがとうございます。是非とも特に災害時でまさに命がかかる時はその通りですけども、やはり災害があって初めてドローンを経験するよりも、常日頃、わずかながらでもドローンを週に1回でも経験して、いざ災害の時に活躍するというのが他の地域で見られることがありますので、少しでもやはり常日頃からの取り組みというのは大事だと思いますのでその対応策、担当課におきましては

会長(宍戸委員)	よろしくお伝えください。
田中委員	<p>第四北越銀行津川支店長の田中でございます。先ほど話しにあったいわゆる個別の目標が達成することによって どうなったのかっていうのは、私もそう思っています。例えば、人口減少がありますと。それを防ぐために各施策に落とし込まれていますと。AとBで8割方達成してる。で、人口減少止まったんですかというようなところで、今どうなってるのっていう話になったのかなと思います。なので、細部に渡って色々な項目があるんですけど、次期計画を立てる時にはその全体感のところ、本来の目標が妥当な目標だったか、その結果、達成率A～Cで、全体でどう人口減少が止まっているのか、それとも止まっていないのかっていうところも総括して考えないといけないなと思います。</p>
会長(宍戸委員)	<p>評価の仕方、あるいは指標の作り方、次期計画の作り方ということでご意見を賜りました。ありがとうございました。</p>
青木委員	<p>阿賀町母子保健推進委員の青木と申します。私も先ほど田中委員の意見を聞いて同じように思いましたが、もともと何を1番目指しているのかっていうのを大きく描いていかないと、そこに向かって何をしたらいいのかというところが出てくると思うので、まず目標はここだというものを決めて行動していかないと、先ほどインバウンドがなくなったとか、でも、ドローンは新しく始まったとか、新しく始める何かがあれば何か失うものとかは出てくると思うんですけども、資料を見させていただいたなかで、1番の理想は、全部Aにすることだと思います。でも1番大きな目標があって、何かを削っていかないと時間やお金や人材がたくさんこれから関わってくると思うので、今後どうしたいのかということをもっと大きく描いて、そこに向かって何か削っていかないと、あれもしたいってあるけれども、じゃあこれはどうするんだ、誰がするんだとか、これはいくらかかるんだとか、何年かかるんだとか出てくると思いますので、1番の目標が人口減少、少子高齢化とするならば、そこから何が大事でどうしたらいいのかとした方が、個人的には動きやすいというのは今まで全体を通して思いました。</p>
会長(宍戸委員)	<p>どうもありがとうございました。ご意見として承りました。</p> <p>では、続きまして、基本目標6「安全安心な暮らしを確保する」について移りたいと思います。16～19ページ、ちょっと枚数にしましては多くございますけど、この6番に関するもの、具体的には、強靱な社会基盤の整備、きめ細やかな公共交通網の整備、また、行財政運営の効率化・活性化についてでございます。この件につきまして、委員の皆様からご意見、ご質問など賜りたいと思います。</p>

羽賀委員	<p>津川地区振興事務所の羽賀と申します。よろしくお願ひします。私ども津川地区振興事務所は、特に「安全・安心な暮らしを確保する」ですとか「強靱な社会基盤の整備」ですとか、そういったものに携わってますので、その観点から意見を言わせてもらいますと、例えば私どもに関係するところと言うと、「災害に強いまちづくり」であるとか、あと17ページの「道路整備と維持・道路施設の長寿命化」ですとか、上下水道、インフラに関する施策についてですが、色々施策の展開が書かれてますけども、施策の中身と数値目標がちょっとずれてるところも若干見受けられるのかなと思います。例えば、17ページの「国県道の整備を促進する」という施策の展開があつて、主な施策が要望活動に努めるとか、そういったことになってますので、本来であればここは、整備促進であれば改良率だとかそういった指標が適当ではないかと思いますが、そこは恐らく想像ですけども、これは町だからやるという施策ではなくて、私どもや県とか国がやる施策でなかなか町として目標を立てづらいというところがあつて、この様な指標にしてるのかなと思うんですけども、こういった指標は、その次期計画を作るときに、我々とですね、事前にちょっとすり合わせて、どういった指標がいいのかとか、そういったものを打ち合わせてもらつと、もっといい計画ができると思いますので、次期計画策定する前に、私どもと色々事前に意見交換をしていただきたいと考えてますのでそこの提案よろしくお願ひしたいと思います。</p>
会長(宍戸委員)	<p>数値目標の作り方について関係機関と協議ということについてご意見を賜りました。ありがとうございました。</p>
猪俣委員	<p>細かいところで申し訳ありませんが、資料3の16ページから資料の基本目標の数字が5になってますが6に修正をお願いします。今ほどいろんな方からの数値目標の話も出まして、私もまさにその通りだなと思いますが、私自身が、第2次総合計画の前期の策定からメンバーだったので、改めて事務局の弁明をするわけではありませんが、当時は数値目標もなく方針だけが出ており、途中からやっぱり評価を入れましょうということで数値目標を立てて作ってきた経緯もあつて、手さぐりで目標は設定してきました。そうした中、この度、皆さん色んなところでこれ合っていないよとお話しいたくなかで、私もずっと委員をやってきた立場ですが、その通りだなというか、改めてしっかり見なければならぬということで反省しております。是非、次期計画でそういった点を反映して、いただきたいと思いますので、引き続きお願ひしたいというなかですが、17ページの左の基本施策の2番目で、上から言うと3つ目の道路改良率ですが、私が委員を務めてきた中で、令和4年、令和5年にずっと言い続けてきた部分で、以前の議事録にも全部残っていますが、現状値が64.8パーセント、令和2年に目標値を70パーセントに決めていた中、令和4年や令和5年の時もずっと実績値が上がらずに説明があつて、計画期間のなかで数値目標を見直す機会もあり、「本当に70パーセントでいいんですか」とずっと言い続けて、でも「70パー</p>

猪俣委員	<p>セントでやります」と言ってきて、今回上がってきたのが 65.8 パーセントで評価の達成率 B っていうのはやっぱりおかしいです。ずっとこれを直しましょうって、でもやりますって言ってやれなかったのに B はやはりおかしいので、この点は是非検証をお願いしたいのと、やっぱりやると言ったらやってほしいと思います。</p> <p>また、これも前にも言いましたが、木造住宅の耐震化率が 1 番下にあります。これも令和 2 年度の 44.8 パーセントに対して 45 パーセント、0.2 パーセントしか上がっていない状況のなかで、これも評価されるのはおかしくて、この辺は今回の能登の地震の件も前回の審議会でもお伝えしましたが、耐震化されてないことによって被害がすごく多かったということで阿賀町の現状を考えればこういったところに注力してほしいと思っております。</p> <p>あくまで今回は第 2 次というか、後期基本計画の評価ということなので、評価の数字だけに特化していますが、もし第 3 次のことを言わせてもらえば、先ほどから出ていますようにやはり評価項目と評価数値というのはきちんと検証した方が良くと思いますし、何度も申し訳ありません、「決めたらやる」ということ、「やる方向に頑張る」ということは是非お願いしたいと思います。</p>
会長 (宍戸委員)	<p>ありがとうございます。大変厳しいご意見をいただいております。事務局から何かがありましたらどうぞ。</p>
事務局	<p>この数値目標は、後期基本計画から始まったものになります。前期計画にはなく、後期基本計画策定時に、新たに数値目標を設けて計画を立てましょうということになりまして、なかなか我々も数値目標をどういうふうにしたらいのか、施策の展開、主な施策にあった数値は何なのか、それは計測可能なのか、そういったところもありまして、手探り状態であったのがこの計画になっておりまして、前回、昨年の審議会の中でも若干色々修正をかけさせていただきまして、今の状況になっております。第 3 次につきましてはもう少しですねレベルを上げてブラッシュアップしまして 数値目標を検討していきたいと思っております。先ほどありました道路改良率であります、昨年、一昨年とのこの数値でいいのかと質問を受けまして、目標として改良をしていきたいというところで目標数値はそのままでしたけれども、結果的に予算の関係もありますし、色々ありまして低い数値に終わってしまったというところもあります。決して、この総合計画に載せた数値目標をないがしろにするとか、そういうものではありません。なるべく数値目標に近づけていこうという努力はさせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>木造住宅の耐震化率ですが、大きな震災が起きますとかなりクローズアップされます。それに時代もあります、耐震というのは災害に備えた 1 つの施策でもありますので、この辺につきましても担当課の方と相談させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>

会長 (宍戸委員)	<p>ある意味思考錯誤しながら数値を作っていくというのは次の計画。</p> <p>そのために本日、我々20名は委嘱されたわけでございますので、一緒になって作り上げていきたいと思っております。</p> <p>では、6つの基本目標については以上とさせていただきます。次に横串の横断的な目標が2つございますが、これは一括して委員の皆様からご意見を伺いたいと思っております。1つ目の横串としましては、「多様な人材の活躍を推進する」で「地域コミュニティの維持・強化」あるいは「人材確保と地域共生社会の実現」、もう1つの横串としましては、「新しい時代の流れをまちづくりに取り入れる」ということで、具体的には、「人とモノをつなげる未来技術の活用」、「持続可能なまちづくり」です。資料は20~24ページの多岐に渡るところでございますが、いかがでございましょうか。範囲が広いですが、この横串的な観点からもご意見など承りますれば幸いにございます。</p>
会長 (宍戸委員)	<p>私からまたひとつ質問をお願いします。私、今回初めてこのお仕事を頂戴したわけでございますが、この横串的な観点というのは、後期計画から取り入れられた考え方なのでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>
会長 (宍戸委員)	<p>分かりました。委員の皆さんにお伝えしたいのですが、最近これ流行りなんです。他の自治体でも徐々に横串、縦割り、どうしても課、係ごとの縦割りの計画になりやすいものを、縦割ではなくて横串にして横断的なテーマ、例えば人口減少対策とか脱炭素とかSDGsとかそういったものを横串で区切っていくという自治体も徐々に表れてきています。それを前の計画から、5年前の見直しから阿賀町では取り入れているという面においては良くやっているなと思うところはございます。</p>
横山委員	<p>22ページの基本施策8-1で、この辺の特に下の方、「書かない窓口」とか「電子申請」などもそうなんですけれども、5年前はこんな項目はなかったんじゃないのかなと思っておりまして、そうするとこの年度の下から例えば3つです。年単位で平均化されたりしてるんですが、これは5年での平均に出されているのでしょうか。それともこの施策が出てから2年とか3年での平均値を出されてるのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらの項目につきましては、令和5年度に新たにデジタル技術の実装ということで増えた施策が多いのですが、令和5年度に追加された項目につきましては、令和5年度単年度の実績値になっております。</p>
横山委員	<p>DXは今流行りで、どこの自治体も結構途中からいれたりとかなさって、何の</p>

横山委員	<p>ために DX をやるのかというところが割とおざなりになって技術だけ入れたりしているところが多いと思いますが、そのなかで、阿賀町はこの窓口の体制に関しては、割と県内では前の方に住んでる自治体ではないかと思います。割と他のところは入れててもひとつ機能はあるけど、他に動いていませんみたいなところがあるなかで、書かない窓口の実績値が 60 パーセントで高い方ではないかと思います。</p> <p>ただ、2025 年の標準化でシステムが大きく変わることを踏まえ、予算が付けづらいというところがあって、一生懸命やっても、もう 1 回コストがかかって財政上非常によろしくないということもあって、全国的に国からは色々やれやれといわれるなかでどんどんやっているんですけど、入れても広がらない理由のひとつはそれだと思ってます。</p> <p>例えばそのなかで書かない窓口が A だったり電子申請が E だったりするのは、それなりに裏の理由もあったりするのかなと思って見ております。なので、決してこの達成率が全てではないのかなと思っていますし、全体っていうのが、最終的にはその人口減少に伴って、人手を確保できなくなる。今までのやり方は昭和から延々とやっていた紙中心のやり方などができなくなるというなかで、やはり効率的に物事を進めていき、我々住民側としてもサービスを受ける時にわざわざ動かなくて良くなったり、そういうふうに効率的に物事ができるようになったりするための DX だと思っておりますので、来年度以降、新しく目標値と施策を立てる場合はそういったところをきちんと観点として考えていただければ良いと思います。どうしても導入をするのが目標になりがちなところでございますので、どちらかという BPR（業務改善）とかそういうところを目標にさせていただければと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今ほどの DX の関係になります。阿賀町では DX 推進計画を策定しておりまして、その第 1 目標が住民のサービス向上、第 2 に行政の効率化というところで、1 つ目に住民サービスの向上というものを置きました。この度、書かない窓口、移動しなくてもよい窓口等を行ったところであります。利用者にアンケート調査をしております。やはり来庁されたお客様は、書かなくても良いのはいいねというような意見もありますし、また、面倒であるとか画面が見えないなどといった意見もいただいております。その辺についてはもう少し改良の余地もあると思いますが、1 階のフロアを全てローカウンターにして移動しなくてもよいといった体制は県内でも珍しいと思っております。</p> <p>先ほど標準化というお話もありましたが、標準化につきましては、住民票や戸籍などそういうところも標準化となりますので、町としてもやりたい部分もありますが、実はコンビニ交付などもありますけれども、その標準化が終わらない限りなかなか手をつけられないなというところもありまして、今後どのように進めていくか検討しているところであります。</p>

清野委員	<p>「多様な人材の確保」のところで、「地域おこし協力隊による移住定住の促進」というのがあります。そのなかで、3年間協力隊として活動して阿賀町に残りたい、ここに住んで仕事をしたいという方の話を数人聞ききます。そのためにはなかなか住むところがない、また仕事がない。この中で、起業の支援を行うと書かれています、どんなアドバイスされてるのか分かりませんが、なかなか起業するのも面倒だと思います。また雇用の場所、いわゆる仕事の紹介などを本気になってやってあげないと、せっかく町に居たいんだけど、しょうがなくて出ていくということが起こり得るので、この辺も力を入れてもらいたいと思います。協力隊の任期が終わるまで一部空き家を改修して、いわゆるシェアハウスを来年からするという話も聞いています。仕事の方はこれからもっと見つけていかなければならないと思いますので一生懸命そういったサポートをお願いしたいと思っています。</p> <p>それで、ちょっと戻って申し訳ありませんが、今、家の話になりましたけども、うちの会社でも県内外からの採用をしまして、そうなりますと通えないので民間のアパートを借りて住んでもらっているのですが、やはりその辺をですね、先ほど5番の「安心、安全」のところに出てましたけども、町営住宅は結構ありますが、古いか何かで入居率が低いという評価が出てます。これはやはり耐震化ももちろんそうなんですけども、改修をしたりして、移住してくる方々に貸すというようなことも大事なかなというふうに考えてますので、ぜひその辺の積極的な施策をお願いしたいと思います。</p>
会長(穴戸委員)	<p>どうもありがとうございました。ご意見として承りました。</p> <p>それでは議事の4)ですね、検証につきましては、この分厚い資料で全体をとおして議論いただいたところでございます。どうもありがとうございました。続きまして、最後の議事になります5)阿賀町の現況について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局より資料4に基づき説明)</p>
会長(穴戸委員)	<p>ありがとうございました。今お話ありましたように、次回、第2回が人口のことについて議論をしたいと思いますので、今日はその予告編ということで説明をいただきました。またですね、事務局から説明があったと思いますが、意見シート、お家に帰られてお風呂に入っていて、お布団の中であ、意見したかった、質問したかったことがあれば送ってください。そういう様式も今年から用意してもらおうようにしました。何かありましたらそここでご質問、ご意見を賜りたいと思います。</p> <p>今日の内容は議事録として残りますので、意見シートは今日言えなかったことについて記入をお願いします。</p>

<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>予定しておりました議事につきましては以上とさせていただきます。事務局からその他連絡事項などございましたらお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、今後のスケジュールについてお知らせいたします。次回の協議会につきましては、10月31日木曜日10時から、同じ会場で開催を予定しております。今ほど申し上げました将来像や人口ビジョンの検討など、阿賀町の将来に関する内容について皆さんにご審議いただくことを予定しております。後ほど通知させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>また、先ほどお話のありました「審議会後意見シート」ですが、9月11日(水)を目処に事務局までご提出をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>それでは以上をもちまして第1回総合計画審議会を終了いたしたいと存じます。皆さん、ご協力ありがとうございました。</p>